

営業体制へのフォーカス 2026

テスト マーケティング株式会社刊行資料利用規約

<1. 著作権>

弊社刊行資料の著作権はテスト マーケティング株式会社に帰属します。著作者人格権(公表権・氏名表示権・同一性保持権)をはじめ、全ての著作権を保有します。各資料に収録されているデータおよび二次的著作物は著作権法によって保護されており、事前に弊社が書面で許諾した場合を除き、データの全部または一部の転載、複製、送信、配信、貸与、翻訳、または他の電子媒体へ変換は禁止とさせていただきます。

<2. 二次利用>

弊社刊行資料に掲載されているデータの一部転載・利用は、購入者及び購入法人の利用に限り、出典、弊社名を明記することで弊社の許諾なしに利用できます。社外資料・論文等にデータの一部を転載・利用する場合は弊社への届け出、許諾が必要になります。

<3. 社内データネットワーク共有>

弊社刊行資料に記載されているデータ(Word、PDF ファイル)については、購入法人内における社内ネットワークでのデータ共有を認めています。

但し、親会社、子会社、グループ会社、関連会社などへのネットワーク共有は禁止させていただきます。

<4. 第三者への譲渡及びデータ共有>

加工、非加工にかかわらず、購入法人のグループ企業を含む第三者へのデータの譲渡及びデータ共有することは禁止させていただきます。

は じ め に

「営業体制へのフォーカス」シリーズは主要製薬企業における最新の国内営業体制を中心とした情報をまとめたマーケティング資料として 2003 年の発刊から毎年 1 回の刊行を継続しており、高い評価をいただいている人気シリーズとなっております。2026 年版は初版から数えて 24 回目の改訂となり、本年も無事に刊行を迎えられたことに対して、心から感謝申し上げます。

同シリーズにおける対象企業数は、2023 年の初版発刊時は内資 25 社、外資 15 社の 40 社でありましたが、年々変化する医薬品業界の動向に即した形で対象企業の追加や調査項目を変更させてきており、2026 年版の対象企業数は内資 33 社、外資 32 社の 65 社となっており、前回 2025 年版からはさらに 4 社が追加となりました。

本書の調査対象となっている製薬企業 65 社における 2026 年 7 月時点のMR数は 30,675 人となり、前年度 31,231 人からは 556 人の減少となりました。2022 年から 2025 年までは毎年 2,000 人前後のMR数の減少がみられましたが、ここきて大幅なMR数の減少はみられなくなってきました。各社が重点領域の選択と集中、事業戦略の転換、デジタル活動の強化、メディカル部門へのリソース拡大など、営業人員の適正化を図りながら営業組織体制を構築していることが伺えます。

各企業がどのような営業体制で国内の医薬品事業を展開しているかを把握するための資料として、「営業体制へのフォーカス 2026」は主要製薬企業 65 社の本社営業マーケティング部門組織や現場の営業第一線体制、領域別MR数、MRサポートスタッフやコントラクトMRの状況、さらにメディカル部門の組織とMSL人員についても掲載、またリモート専任MRやプロモーションメール、オウンドメディアの展開などデジタル活動の導入状況に加え、製品動向、開発品動向、販売提携など営業体制を中心とした幅広い情報をまとめた内容となっております。

本年も「営業体制へのフォーカス 2026」をご活用いただき、お役に立てれば幸いです。

2026 年 8 月

テスト マーケティング株式会社
メディカルディビジョンスタッフ一同

<調査項目>

1. 営業体制の沿革
2. 営業体制の概要
 - 1) 営業部門の組織
 - 2) 領域制の導入状況
 - 3) フィールド(支店～営業所)の営業組織
 - 4) 営業第一線組織長の役割
 - 5) エリアサポートスタッフの状況
 - 6) M S Lの組織
 - 7) 営業拠点(支店・営業所など)
3. MR陣容の概要
 - 1) MR陣容(5 ヶ年推移)と今後の採用計画
 - 2) コントラクトMR活用状況
4. 販売提携の状況
5. 製品販売状況
 - 1) 国内医療用医薬品販売高推移(5 ヶ年実績)
 - 2) 上位製品の販売実績
 - 3) トップブランド3 製品販売比率
 - 4) 新製品販売状況(2021 年以降)
 - 5) 新製品販売高推移
 - 6) 新剤型、新用量一覧(2021 年以降)
 - 7) 適応拡大製品一覧(2021 年以降)
 - 8) MRの生産性
6. オムニチャネル体制
 - 1) デジタル戦略
 - 2) オウンドメディアの状況
 - 3) コールセンターの状況
7. 国内開発状況(フェーズⅡ以降)

<調査対象企業>

国内主要製薬企業 65 社(内資 33 社、外資 32 社)

<調査時期>

2026 年 5 月～2026 年 7 月

<調査実施機関>

テスト マーケティング株式会社

目 次

<総括編>

■調査対象企業 65 社の比較■	(3)	9. MR の生産性ランキング	(2 0)
1. MR 数推移と施設担当方法	(4)	10. トップ 3 ブランドと新製品の販売高状況	(2 1)
2. 領域別 MR の導入状況	(5)	11. トップ 3 ブランド販売高ランキング	(2 3)
3. 営業第一線組織の概要	(1 0)	12. 過去 5 カ年新製品販売高ランキング	(2 4)
4. 2026 年 MR 数ランキング	(1 2)	13. トップ 3 ブランド別販売高	(2 5)
5. 2026 年 4 月採用 MR 数と今後の計画	(1 3)	14. 販売提携と開発品状況	(2 7)
6. コントラクト MR と MSL の導入状況	(1 5)	15. オムニチャネル体制	(2 9)
7. 国内医療用医薬品販売高推移	(1 7)	16. コールセンターの状況	(3 3)
8. 国内医療用医薬品販売高ランキング	(1 9)		

<企業事例編>

1. 武田薬品工業	(3 7)	34. 中外製薬	(3 2 4)
2. 第一三共	(4 9)	35. MSD	(3 3 6)
3. アステラス製薬	(6 1)	36. ファイザー	(3 4 9)
4. エーザイ	(7 1)	37. グラクソ・スミスクライン	(3 6 2)
5. 塩野義製薬	(8 1)	38. アストラゼネカ	(3 7 2)
6. 田辺ファーマ	(9 1)	39. ノバルティスファーマ	(3 8 6)
7. 住友ファーマ	(1 0 2)	40. サノフィ	(3 9 9)
8. 小野薬品工業	(1 1 1)	41. バイエル薬品	(4 0 9)
9. 協和キリン	(1 2 1)	42. ブリストル・マイヤーズ スクイブ	(4 1 9)
10. 大塚製薬	(1 3 1)	43. 日本ベーリンガーインゲルハイム	(4 3 0)
11. 大正製薬	(1 4 1)	44. ヤンセンファーマ	(4 3 8)
12. 帝人ファーマ	(1 4 8)	45. 日本イーライリリー	(4 5 1)
13. 杏林製薬	(1 5 7)	46. ノボノルディスク ファーマ	(4 6 2)
14. キッセイ薬品工業	(1 6 4)	47. アッヴィ	(4 7 2)
15. 旭化成ファーマ	(1 7 3)	48. アムジェン	(4 8 4)
16. 科研製薬	(1 8 1)	49. リジェネロン・ジャパン	(4 9 3)
17. 大鵬薬品工業	(1 9 0)	50. ユーシービー・ジャパン	(5 0 0)
18. Meiji Seika ファルマ	(1 9 9)	51. ギリアド・サイエンシズ	(5 0 9)
19. 持田製薬	(2 0 9)	52. アレクシオンファーマ	(5 1 7)
20. 興和	(2 1 8)	53. メルクバイオフファーマ	(5 2 4)
21. 参天製薬	(2 2 6)	54. CSL ベーリング	(5 3 0)
22. 久光製薬	(2 3 4)	55. レオファーマ	(5 3 8)
23. 日本新薬	(2 4 2)	56. インスメッド	(5 4 4)
24. 日本化薬	(2 5 1)	57. 日本セルヴィエ	(5 4 9)
25. 鳥居薬品	(2 5 9)	58. フェリングファーマ	(5 5 5)
26. マルホ	(2 6 7)	59. バイオジェン・ジャパン	(5 6 1)
27. ゼリア新薬工業	(2 7 5)	60. アルナイラム・ジャパン	(5 6 8)
28. 三和化学研究所	(2 8 2)	61. ルンドベック・ジャパン	(5 7 4)
29. EA ファーマ	(2 8 9)	62. 礼来・バ イオサイエンス・ジャパン	(5 7 9)
30. JCR ファーマ	(2 9 6)	63. アルジェニクス・ジャパン	(5 8 5)
31. ネクセラファーマ・ジャパン	(3 0 3)	64. ムンディファーマ	(5 9 0)
32. ノーベルファーマ	(3 0 9)	65. ファーマエッセンシア・ジャパン	(5 9 5)
33. 富士フイルム富山化学	(3 1 7)		

「営業体制へのフォーカス 2026」＜CD-R付＞

頒価：400,000 円(消費税別)

発行日：2026 年 8 月 18 日

発行人：一丁田 哲

発行所：テスト マーケティング株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 2-14

パールビル 4F

TEL03-5642-3768

FAX03-5642-3778

日本語・外国語を問わず、いかなる形式でも本書の一部または全部の複製無断転載をお断り致します。